

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ヨシタケ

コード番号 6488 URL <http://www.yoshitake.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 哲

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 島 勝彦

TEL 052-881-7146

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,685	—	218	—	289	—	162	—
20年3月期第1四半期	1,586	0.8	157	△15.1	235	△1.3	102	△19.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	24.74	—
20年3月期第1四半期	15.59	15.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	9,021	7,416	82.2	1,128.31
20年3月期	9,379	7,527	80.3	1,145.23

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,416百万円 20年3月期 7,527百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	30.00	30.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,170	0.0	300	△8.8	440	△5.6	220	△2.3	33.47
通期	6,560	△0.6	670	△4.4	920	△6.7	580	△3.4	88.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 6,967,473株 20年3月期 6,967,473株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 394,484株 20年3月期 394,425株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 6,573,047株 20年3月期第1四半期 6,569,965株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、引き続き原油・原材料価格が高水準で推移し、米国経済の減速感が強まるほか、設備投資や個人消費等に陰りが見える中で、景気の更なる減速が懸念され、先行きの予断を許さない状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは引き続き積極的な提案営業を展開しました結果、連結売上高は16億85百万円となりました。

損益面では、原材料価格は高水準で推移いたしましたものの、更なるコスト削減を進め、利益の確保に努めました結果、経常利益は2億89百万円、四半期純利益は1億62百万円を計上しました。

当第1四半期連結会計期間の業績は概ね計画通り順調に推移しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は90億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億57百万円減少しました。主に現金及び預金が配当金の支払や法人税等の納税などにより1億64百万円減少したほか、受取手形及び売掛金が84百万円減少したことなどによります。

負債は16億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億45百万円減少しました。主に未払法人税等が納税により1億19百万円減少したほか、賞与引当金が65百万円減少したことなどによります。

純資産は74億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円減少しました。四半期純利益を1億62百万円計上したものの、配当金の支払により利益剰余金が34百万円減少したこと、為替換算調整勘定が72百万円増加したことなどによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は、概ね計画通り推移しておりますので、平成20年5月21日付決算短信にて開示いたしました予想値に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 当社および国内連結子会社は、通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。
これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ2,028千円減少しております。
3. 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用しております。
これによる損益に与える影響はありません。
4. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用しております。
これによる損益に与える影響はありません。
なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,085,427	2,249,870
受取手形及び売掛金	2,138,876	2,223,752
製品	481,719	510,971
原材料	562,575	529,601
仕掛品	306,663	309,384
その他	92,775	143,932
流動資産合計	5,668,037	5,967,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,982,604	1,976,360
減価償却累計額	△1,328,506	△1,325,821
建物及び構築物（純額）	654,097	650,538
機械装置及び運搬具	1,911,299	1,904,911
減価償却累計額	△1,438,854	△1,415,002
機械装置及び運搬具（純額）	472,445	489,908
その他	736,004	741,317
減価償却累計額	△651,837	△644,017
その他（純額）	84,167	97,299
土地	470,115	470,243
有形固定資産合計	1,680,826	1,707,990
無形固定資産		
のれん	94,240	102,807
その他	11,061	11,567
無形固定資産合計	105,301	114,375
投資その他の資産		
投資有価証券	1,156,720	1,165,986
その他	428,587	440,911
貸倒引当金	△17,544	△17,724
投資その他の資産合計	1,567,763	1,589,173
固定資産合計	3,353,892	3,411,539
資産合計	9,021,929	9,379,051

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	718,049	767,386
短期借入金	13,500	13,872
未払法人税等	63,376	182,940
賞与引当金	85,183	150,269
その他	287,117	253,710
流動負債合計	1,167,226	1,368,179
固定負債		
長期借入金	500	3,875
退職給付引当金	245,289	247,810
役員退職慰労引当金	192,538	231,546
固定負債合計	438,327	483,232
負債合計	1,605,554	1,851,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,905	2,657,905
利益剰余金	3,223,631	3,258,227
自己株式	△322,415	△322,372
株主資本合計	7,467,796	7,502,434
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30,123	34,274
為替換算調整勘定	△81,544	△9,068
評価・換算差額等合計	△51,421	25,205
純資産合計	7,416,375	7,527,640
負債純資産合計	9,021,929	9,379,051

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	1,685,164
売上原価	936,951
売上総利益	748,212
販売費及び一般管理費	530,009
営業利益	218,203
営業外収益	
受取利息	288
受取配当金	127
持分法による投資利益	65,659
その他	9,418
営業外収益合計	75,494
営業外費用	
支払利息	316
売上割引	3,228
その他	1,131
営業外費用合計	4,675
経常利益	289,021
特別利益	
貸倒引当金戻入額	180
特別利益合計	180
特別損失	
固定資産除売却損	1,668
特別損失合計	1,668
税金等調整前四半期純利益	287,533
法人税、住民税及び事業税	62,500
法人税等調整額	62,437
法人税等合計	124,937
四半期純利益	162,595

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	287,533
減価償却費	47,886
のれん償却額	8,567
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△65,086
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,520
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△39,008
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△180
受取利息及び受取配当金	△415
支払利息	316
為替差損益 (△は益)	△4,585
持分法による投資損益 (△は益)	34,802
固定資産除売却損益 (△は益)	1,668
売上債権の増減額 (△は増加)	84,021
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,173
仕入債務の増減額 (△は減少)	△48,775
その他	34,848
小計	336,899
利息及び配当金の受取額	400
利息の支払額	△316
法人税等の支払額	△168,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△10,032
定期預金の払戻による収入	10,020
有形固定資産の取得による支出	△33,618
投資有価証券の取得による支出	△100,239
その他の支出	△4,792
その他の収入	2,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,176
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△3,747
自己株式の取得による支出	△42
配当金の支払額	△197,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,981
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,896
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△164,436
現金及び現金同等物の期首残高	2,189,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,025,253

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当社および連結子会社は当第1四半期連結会計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）における製品の種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種同系列の自動調整弁を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,666,820	18,344	1,685,164		1,685,164
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	504	236,794	237,299	(237,299)	—
計	1,667,324	255,138	1,922,463	(237,299)	1,685,164
営業利益	198,313	21,007	219,320	(1,117)	218,203

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

- (1) 国又は地域の区分の方法 地理的な近接度によっております。
(2) 各区分に属する主な国又は地域 東南アジア：タイ

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

	アジア (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)
I 海外売上高	197,553	96,255	293,808
II 連結売上高	—	—	1,685,164
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	11.7%	5.7%	17.4%

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

- (1) 国又は地域の区分の方法 地理的な近接度によっております。
(2) 各区分に属する主な国又は地域 アジア：韓国、台湾、中国、インドネシア、タイ、その他
その他の地域：欧州、豪州、米国、その他

2 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,586,284
II 売上原価	898,499
売上総利益	687,785
III 販売費及び一般管理費	530,193
営業利益	157,591
IV 営業外収益	81,891
V 営業外費用	4,346
経常利益	235,136
VI 特別利益	3,997
VII 特別損失	985
税金等調整前四半期純利益	238,148
税金費用	135,739
四半期純利益	102,408